

# 道

観賞日 2022年5月9日 上映時間 104分

## 【概要】

制作 1954年 イタリア  
監督 フェデリコ・フェリーニ  
脚本 フェデリコ・フェリーニ、トゥリオ・ピレリ、エンニオ・フライアーノ  
音楽 ニーノ・ロータ  
撮影 オテロ・マルテッリ  
出演 アンソニー・クイン（ザンパノ）  
ジュリエッタ・マシーナ（ジェルソミーナ）  
リチャード・ベイスハート（綱渡り芸人・マット、キジルシ）



## 【あらすじ】

旅回りの大道芸人ザンパノは助手のローザに死なれローザの姉のジェルソミーナを代役として雇う。ザンパノの芸は胸に巻いた鋼鉄の鎖を胸筋の力で弾き飛ばすという一発芸。ジェルソミーナは少し頭が弱い気立ての良い娘。ザンパノはジェルソミーナに道化師役など助手としての芸を叩き込む。大男のザンパノと小柄なジェルソミーナの旅回りが始まる。ザンパノは粗野で女好きなどしようもない男。やがて、ジェルソミーナはザンパノに愛想をつかし彼のもとを去る。しかし、すぐにザンパノに捕まり二人はサーカスに入る。サーカスにはマットという綱渡り芸人がおり、ザンパノとマットは昔から犬猿の仲である。マットにからかわれたザンパノはナイフを持ってマットを追いかけまわし警察に逮捕される。ジェルソミーナはマットに誘われるがザンパノとの同行を選ぶ。二人は道すがらマットに遭遇、ザンパノは誤ってマットを殺してしまう。それを見たジェルソミーナはショックのあまり狂気に襲われる。怖くなったザンパノはジェルソミーナを置いて逃げ去る。4~5年後、ザンパノはかつてジェルソミーナが演奏していた曲を耳にして地元の人に尋ねるが・・・。

巨匠フェデリコ・フェリーニの代表作となったロード・ムービー。ニーノ・ロータの哀調を帯びた名曲が心に響く。

## 【解説】

### ■ポイント

- 監督：フェデリコ・フェリーニ（1920年～1993年）
  - ・イタリア人の映画監督、脚本家。ルキノ・ヴィスコンティと並び戦後のイタリア映画を代表する映画監督。
  - ・本作でアカデミー賞外国語映画賞を受賞し国際的名声を博す。その後、計4回同賞を受賞（「カピリアの夜」「8 1/2」「フェリーニのアマルコンド」）「甘い生活」でカンヌ国際映画祭パルムドール受賞
  - ・音楽監督のニーノ・ロータは数多くのフェリーニ作品の音楽を担当。
  - ・妻は本作にも出演したジュリエッタ・マシーナ。

### ●受賞

- ・第15回（1954年）ヴェネツィア国際映画賞：銀獅子賞
- ・第29回（1957年）アカデミー賞：外国語映画賞

### ■見どころ

#### ●映画音楽

ニーノ・ロータ作曲の「ジェルソミーナ」は映画音楽名曲集に度々収録される名曲

#### ●ラスト・シーン

夜の浜辺で一人泣き崩れるザンパノの悔恨の姿

